

明治学院コンサート・シリーズ 第104回 《政治と音楽》

2018年 10月14日(日) 15:00 開演 (14:30 開場)

明治学院大学 白金アートホール

入場無料 (一般の方々・学生、どなたにも開かれています。)

ハイドン／弦楽四重奏曲「皇帝」 ヒンデミット／無伴奏ヴィオラソナタ 作品 11-5 ショスタコーヴィチ／弦楽四重奏曲 第8番 ショスタコーヴィチ／エレジーとポルカ

ショスタコーヴィチはソ連の体制内での創作を余儀なくされましたが、室内楽ではかなり自由な表現ができたようです。第8番は「ファシズムと戦争の犠牲者の思い出に」と書き添えられた彼の代表作です。ハイドン「皇帝」の二楽章がドイツ国歌となり、ナチスがまずヒンデミットをやり玉に挙げたことなど、「政治と音楽」のお話しも交え、苦みと美しさが混在する傑作選を、都内有数の音響、140席白金アートホールで。

西野 絢賀 にしの・あやか (violin)

3才よりヴァイオリンを始め、11才でスズキメソッド全過程終了。名古屋市立菊里音楽高校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。第28回子どものためのヴァイオリンコンクール金賞。2009年JASTAストリングスセミナーで代表に選ばれ演奏。2009年全日本学生コンクール名古屋大会本選出場。第12回、第14回日本演奏家コンクール入選。第21回クラシック音楽コンクール全国大会入選。2013年スプリングヴァイオリンコンサート出演。セントジョージ国際音楽祭 2013に参加、室内楽・ソロを行う。松田節子、石田なをみ、森下陽子、海野義雄、沼田園子の各氏に理事。

伊藤 静佳 いたう・しずか (violin)

洗足学園音楽大学入学(ヴァイオリン)。大学2年生よりヴィオラを始める。室内楽において第14回室内楽オーディションにて選抜された室内楽コンサートに出演。洗足学園音楽大学を卒業し、幅広いジャンルにおいてのオーケストラ、室内楽、パーティー演奏、レコーディング、アーティストのツアー、サポート演奏など演奏活動中。現在洗足学園中学高等学校の音楽科目においてヴァイオリン講師、オーケストラ部のヴィオラ講師。

柘植 藍子 つげ・あいこ (viola)

3歳よりヴァイオリンをはじめ、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校入学を機にヴィオラに転向。東京芸術大学音楽学部卒業後、2016年同大学音楽研究科修了。芸大フィルハーモニア管弦楽団に tutti 奏者として一年間在籍、現在オーケストラの客演を主な活動としている。ヴァイオリンを市川映子、片山淑子、浦川宜也、ヴィオラを大野かおる、川崎和憲の各氏に師事。

半澤 朝彦 はんざわ・あさひこ (cello)

霧島国際音楽祭、京都フランス音楽アカデミーなどに選抜され、堤剛(桐朋学園大学)、F.ミュレル(パリ国立音楽院)、H.シャピロ(ジュリアード音楽院)、G.ホーシュ(コンセルトヘボウ管首席)氏らのマスタークラスで演奏。パリ・エコールノルマル音楽院のG.トゥリエール氏に6年間師事。クライスト・チャーチ祝祭交響楽団などの首席奏者を務める。2010年、英国 Trinity-Guildhall 音楽院ディプロマで同音楽院生相当の成績。本学国際学部准教授(国際関係史、音の政治学)。本シリーズをプロデュース。毛利伯郎、J.ウオードクラークの各氏に師事。

[明治学院国際学部コンサート・シリーズ 第104回] ☆明治学院白金アートホールへの行き方: JR品川駅高輪口より都営バス「目黒駅」行、またはJR目黒駅より「大井競馬場」行きに乗り、「明治学院前」下車。または、地下鉄南北線の白金高輪、白金台、浅草線の高輪台からいずれも徒歩5分。ホールはキャンパス内、東門に近いガラス張り建築の「パレットゾーン」2階奥。
※本シリーズのこれまでの演奏会、今後の予定は、明治学院大学、国際学部のHP(イベントの項)で常時ご覧になれます。